

提出 順番	No. 4	令和 8 年 5 月 27 日 午前・ <del>午後</del> 5 時 17 分受領
----------	----------	---

令和 8 年 5 月 27 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 岡本 眞利子



## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
持続可能な地域づくり（町内会活動）について	<p>近年、経済環境の変化と価値観の多様化により地域コミュニティの機能が著しく低下しているように思われます。</p> <p>少子高齢化と人口減少、核家族化により生じている社会課題のひとつは孤独、孤立です。令和 6 年度の厚生労働白書では孤独、孤立の状態はこころの健康に深刻な影響を及ぼしうるものであり、さらには高齢期、老年期にかけての孤独は心身の機能低下などと相まって生活不活発病といわれる様々な症状につながる恐れがあるとされています。</p> <p>そこで重要と考えるのが人と人の「つながり」を築けるような社会環境づくりです。地域の暮らしを守るために結成されている任意団体が町内会です。現在、全国的にも町内会の加入率の低下が課題になっている中、安全安心に暮らせる地域を維持していくため、住民同士のつながりづくりを始め、ごみステーションや防犯、防災や福祉活動などそれぞれの地域の状況を踏まえた自主的な活動が行われているのか危惧するところであります。</p> <p>町内会は地域コミュニティとして幕別町のまちづくりにおいて重要な役割を担っていただいております、様々な活動の中で町との関わりがあります。また、行政だけでは行き届かないことも町内会と協働することで充実が図れるなど大きなメリットがあります。</p> <p>しかしながら、本町においても加入率が年々低下傾向にあり地域コミュニティの希薄化から住民同士の「つながり」が徐々に薄れていることは明らかです。そこで以下の点について伺います。</p>

	<ol style="list-style-type: none"><li>1 町内会の現状と行政の関わりについて<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 町内会の存在意義を町はどのように捉えているのか。</li><li>(2) 本町の町内会加入率は令和5年度66.53%、令和6年度65.11%、令和7年度62.48%と減少しているが、その要因と分析は。</li><li>(3) 町内会の加入者の減少や役員の担い手不足により町内会活動を縮小された町内会の実態把握の状況は。</li><li>(4) 転入者への町内会加入促進に向けた具体的な取り組みは。</li></ol></li><li>2 町内会の活性化に向けた支援について<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 町内会における情報共有の負担軽減や若年層の加入促進に向けて、持ち回り回覧板の電子回覧板への移行や新たなコミュニケーションツールの構築に向けたデジタル活用について、町として支援策を検討する考えは。</li><li>(2) デジタル活用以外の観点から、町内会の活性化に向けて、町として支援策を検討する考えは。</li></ol></li><li>3 様々な課題を抱える町内会の実態を踏まえた今後の地域づくりの在り方について、町の見解は。</li></ol>
--	---

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。